



【教育目標】 自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成  
～～～ 一人一人が輝く子どもの姿を求めて ～～～

☆ 11月の目標

☆安全の「あ」  
健康な自分・・・  
※体力づくりをしよう  
※手洗い、うがいを

☆配布物のお知らせ  
1 学校便り 34号

☆今後の主な予定  
・11月26日  
サンクスギビング休業日  
・12月17日  
2学期終業日  
・1月 7日

☆未来がよりよくなるために

六年二組 前村 慶介

未来がよりよくなるためには、ごみを減らすことが大切だ。そのためには、リサイクルをすることが大切だと考える。その根拠として、次のような出来事がある。ぼくは公園で遊んでいた。それから、草のなかにごみが落ちていた。その時、「いやだな」という気持ちになった。そして、ニュースなどテレビをみているとごみがいっぱいある場所があつたりして、川などにパーベキューをしたあとなのか、ティッシュや紙コップが落ちていた。その中のゴミを一つでもしっかりと家へ持ち帰れば空気が悪くならず少しは、未来の平和につながると思える。だから、みんなが車や公園や川でポイ捨てをせず、家へごみを持ち帰るように心がけなければならないのだ。しかし、人々全員がごみをしっかりと捨てるようには、なかなかならないと考える人もいるだろう。だが、それに対して、ぼくは、しっかりとごみを捨てることで、未来は、平和になるという気持ちが少しもあれば、未来が平和になると考える。未来がよりよくなるためには、ごみをきちんとすてたり、リサイクルをすることが大切だ。ぼくができることは、ポイ捨てをしないで、ティッシュをむだづかいなどせず、リサイクルして資源を大切にすることだ。

☆争いのない未来のために  
六年二組 永峯 蒼士

ぼくは、未来がよくなるためには、がまんしたり、言い争いをしないことが重要だと思ふ。戦争なども、もちろん最初に始めた方が悪いと思う。だが、それなりにやり返していくとドンドン大きくなっていき、最後にはものすごい被害がでたりするかもしれない。日本がアメリカを攻めたせいで、アメリカがやり返したからすごい量の死者が出た。やはり最初に攻めた日本が一番悪いけど、やり返したことで被害者が増えたのはちがいない。やり返すきっかけを作った方が一番悪いといわれると思う。もちろん、一番悪いのは何度でも言うが、きっかけを作った方だ。でもやり返したことで、被害は出るし、もう始まってしまったものは、やり返しをくりかえしているようなもので、がまんして、やり返すのを止めるしかないと思う。そういった理由でぼくは、自分の身の回りでもやり返したり、言い争いをしないことが大事で、平和なよりよい未来につながることを思う。

☆無駄遣いのない未来へ  
六年二組 滝本愛里来

むだ遣いをしないこと。これは、よりよい未来を作るためには欠かせないことだと思ふ。そのためには、水や電気など、いつかこの世界からなくなるかもしれないものを、こまめに消したり、少しずつ使うことから、いまよりも便利な世界が生まれるかと思ふ。私は、インターネットで今でも水や食料が足りない国の生活などについてみた。私は、水が足りなくなってきたというのに、未来はどうなってしまうのかと思つた。水は、植物や私たち、動物たちには不可欠である。未来のことを考えると、もっと水や電気を大切にしようと思ふ。今まで自分がむだに使っていた水を少しずつ、少なく使ったり、しばらく行かない部屋の電気を消したり、こまめにプラグをぬいたりするだけで、たくさん量の水や電気は絶対に必要で、むだ遣いをしないのは難しいという人もいると思ふ。だが、少しずつ、消すだけでもその消した部分を未来に使うことができ、その未来でもむだ遣いをしないで後に持って行けば、また、その未来で使えないと私は考える。そして、むだ遣いを高くなってしまふ。むだ遣いを止めれば、地球が安全で豊富な星になるかもしれない。むだ遣いをしないこと。それを推し進めるのは、自分の国の周りに、むだ遣いなるべくしないのでほしいと伝えつつ、自分や家族もむだ遣いをしないことが大切だと思ふ。

☆ゴミが落ちていない未来へ  
六年二組 江泉 大和

道路や道にゴミが落ちていないように努力することだ。未来の世界の道路や道、公園にはゴミが落ちていないようにするために、ゴミが落ちていたら、拾って捨てることだ。未来がよりよくなる一歩だ。ある日テレビを見ていたら、ゴミがたくさんある家の片づけを一切やらないからきたなくなるのだろうと思ふ。でも、自分の家は、お父さんやお母さんが部屋の片づけをしてくれているので、ゴミがたくさんある家にならないのだと思ふ。ゴミが落ちていないようにするには、まず自分のポイ捨てをしないように、ゴミが落ちていたら、拾って捨てればよいと思つた。ただ、そのことを気にせずにする人もいるから、地球の環境が悪くなってしまうと思ふ。そのために看板を立てるだろう。そうすれば、ゴミをゴミ箱に捨てる人も増えるだろう。自分の家や道路や公園がきれいなままであるために、しっかりとゴミを捨てることを気にすれば未来がよりよくなるだろう。

★地球の温暖化を防ぐために  
六年二組 ベネットエイジア

私は世界中の人々が、大気中に排出される二酸化炭素の量を減らすように努力する必要があると思います。なぜかというところ、二酸化炭素が大気中に増えると、地球の温暖化が進むからです。温暖化が進むと暮らしても変わってしまいます。二酸化炭素を減らすには、工場や車からの排気ガスを減らしたり、ゴミの量をへらしたり、木を植えるなどの方法があります。

しかし、工場や車からの排気ガスをへらすには、いろいろな産業に負担がかかったり人々も困ることがあるかもしれません。しかし、地球の温暖化を止めないと、地球の未来が大変なことになってしまいます。わたしたちは、今すぐ自分たちにできることをしていかないとけません。子どものわたしたちにもできることもあります。例えば、リサイクルをする、紙を使う量を減らすなどです。

地球を守るため、また私たちの暮らしを守るため、そして、いまある陸地が海面の下にならないように、みんなで力を合わせて地球の温暖化をくいとめていきましょう。

★自分の名前の由来

三年二組 日置 珂充

ぼくの名前は、お父さんが考えました。ぼくのお父さんは、兄ちゃんの名前が三文字だからぼくの名前も三文字になりました。お兄ちゃんの名前の文字が「日」だから、ぼくの名前も最後の文字は「日」になりました。ぼくの名前は、海外に行っても覚えてもらいやすいから、「日」という名前になりました。ぼくの漢字の珂は、大切な人ときずなを深めて、家族や兄弟への愛をしようという深い意味があります。充には、調和がとれて誠実の意味があるからぼくは自分の名前が気に入りました。

★自分の名前の由来  
三年二組 山下 珠生

ぼくの名前は珠生です。珠は、真珠の珠です。そして、生は生まれるの生です。珠は、辞典で調べたら、美しい丸いという意味でした。だから、美しいものが生まれるという意味だそうなんです。お父さんとお母さんが決めたそうなんです。何か月もかかったそうです。

今までは全然知りませんでした。ただよくある名前を考えているだけだと思っていました。何か月もかけて決めていたと知って驚きました。今は、どういう意味かあまりよく分かりません。大人になったら、わかるかなと思いました。

名前は、気に入っています。なぜなら、漢字がかんたんだからです。名前を決めてくれてありがとうございます。

★自分の名前の由来  
三年二組 井田 陽太

お母さんが幼稚園の先生をしていた時に、陽太という男の子に出会いました。その男の子は、ユーモアがあり、すごくチャーム的な男の子でした。そして、陽太の漢字を逆さにすると太陽と読みます。漢字もあたたかいイメージがあって良いなと思ったそうです。この話を聞いてぼくも良いなと思いました。

★自分の名前の由来  
三年二組 岡野 祐翔

ぼくの名前は、ゆうと言います。お父さんとお母さんがつけてくれました。ゆうとのお母さんのお母さんの字をもらっています。祐の字には、神の助け」という意味があります。翔には、はばたく」という意味があります。自由に伸び伸びと成長してほしいという願いが込められています。ぼくは自分の名前が大好きです。

★しうせたいな、見せたいな  
一年一組 マターン エイヴリー

わたしは、どんぐりをみつけました。ブラウンカウンティの森にどんぐりがありました。ブラウンカウンティには、木がいっぱいありました。どんぐりは、いろいろなかたちがありました。どんぐりもありません。きたないのときたなくないのときもありました。どんぐりは、ちやいろときいろのときもありました。ふくろにいっぱいどんぐりがはいりました。もっとほしいとおもいました。

おねえさんとおとうさんとわたしとおねえさんもおとうさんにいきまいた。たのしかったです。またいきたいです。

★しうせたいな、見せたいな  
一年一組 すずき けんた

ぼくは、うちでひまわりをそだてました。ひまわりは、ぼくよりもせいがたかくなりました。

なつがおわって、はなびらがかれてしまいました。たねがぎつりつまっていきます。ひまわりのたねは、しましまです。いろは、くろとしろです。ひまわりのくきには、ちよつととげがはえています。ひまわりがおおきくなつてうれしいです。たねをとるのがまたたのしみです。

★しうせたいな、見せたいな  
一年一組 おおにし れく

ぼくは、いけのちかくの石がいっぱいあるところにかせきをみつめました。かせきをさわるとでこぼこしています。かたちは、お山みたいです。いろは、はいいろです。よく見ると小さいまるいあなが見えます。

かせきは、ぼくのたからものです。

★秋の俳句 六年一組

夏終わる 処暑になって  
すずやかに 池田 真彬  
かえでの葉 ひらりと落ちる  
白露かな 秋本 登太

秋分の 正午はどこか  
特別な 高杉 昌汰  
寒くなり 葉が赤くなる  
寒露かな 橋本 佳奈

気をつけて 前が見えない  
白露だよ スパークス美頼

☆秋の短歌  
食卓に ならんだ秋刀魚  
栗ご飯 秋の味覚に 止まらぬ食欲  
田中 柊羽

耳すまし 鳥や木々たちが森の中 音楽会を 楽しんでる  
大幡 蘭

ハロウィーン コスチューム着て はりきるが 秋の夜風が 体を冷やす  
出口 華蓮

秋来ると 冬に近づき 夜長く 昼は短く さみしくなるな 降矢 望空

せわしなく リスが急いで冬支度 落ち葉は冬が来ると伝える 山内 絢加

寒露かな 風吹くたびに木の葉っぱ ぱらぱら落ちる 雨降るような  
田原 侑来

